

花一会の本を検索

【TEL&FAX】

0136-57-6085

【MAIL】

hanaichie@voice.ocn.ne.jp



Facebook



Instagram



Twitter

# 花一会図書館便り

4・5月号（令和3年4月30日発行）

道立図書館から  
100冊やってくる！

## ～ナポレオン没後200年記念展示～ ナポレオンとフランス

今年5月はナポレオン・ボナパルト没後200年の月。ナポレオンってどんな人物？その時代のフランス情勢はどうなってた？歴史書はもちろん、小説や芸術関連の本も道立図書館からお借りして展示します！  
期間限定なのでお見逃しなく！！



**展示期間 5月1日(土)～6月6日(日)**

## 2021年 本屋大賞決定！

翻訳部門受賞



『ザリガニの鳴くところ』  
ディーリア・オーエンズ、友廣純 訳  
(早川書房)

大賞受賞



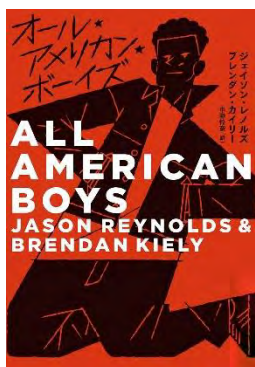
『52ヘルツのクジラたち』  
町田そのこ  
(中央公論新社)

発掘部門受賞



『「ない仕事」の作り方』  
みうらじゅん  
(文芸春秋)

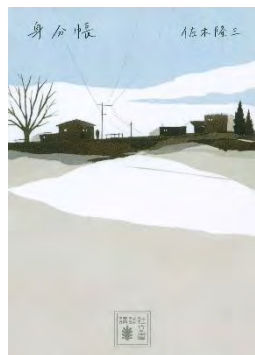
# 今月のおすすめ本 コーナー



## 『オールアメリカンボーイズ』

ジェイソン・レノルズ、ブレンダン・キリー 著  
( 偕成社 )

黒人少年ラシャドと白人少年クインが差別の現実深く傷つき苦しむ1週間。白人という防護服、見えない振りが差別への加担だと気付く苦しさ、沈黙も暴力であること。白人パートを白人作家が、黒人パートを黒人作家が描き分けた合作で、心情のリアルさに心が震える。



## 『身分帳』

佐木隆三 著 ( 講談社 )

主演・役所広司で今年2月に上映された映画の原案となったノンフィクション・ノベル。旭川刑務所から満期で出所した受刑10犯の山川は東京で職探しを始める。正直で純粹だからこそ世間との衝突、挫折、戸惑い。人間という生き物を深く掘りさげた物語。



## 『チョコちゃんに叱られる!』

NHK「チョコちゃんに叱られる!」  
制作班 著 ( 小学館 )

「ポーっと生きてんじゃねーよ!」でお馴染みのチョコちゃん。素朴だけど問われると思わずウツと詰まってしまう疑問をわかりやすく解説してくれる。大人として、日本人として、知っておいて損はないものばかり。家族みんなでワイワイ楽しんで。



## 『お医者さんが薦める免疫力をあげるレシピ』

大塚亮 著 ( 三空出版 )

巷で飛び交う「免疫力」という言葉。マスク、消毒、ワクチンの他に、私たちの身体をつくる毎日の食事も大事。「栄養のある食事」とは「細胞が喜ぶものを食べる」ことだと言う著者は現役のお医者さん。感染症だけでなく、がん予防やアレルギー、美容にもオススメな1冊。



## 『山の観天望気』

猪熊隆之 他 著 ( 山と溪谷社 )

「観天望気」とは、人間の五感を使って今後の天気を予想すること。雲を知ること、空気の気持ちが変わってくるという。これから登山シーズン。気象リスクから身を守り、山を楽しむためにも一読を。コンパクトな新書サイズだが、全ページカラーで見やすくなっている。



## 『肉体のジェンダーを笑うな』

山崎ナオコーラ 著 ( 集英社 )

今までの「当たり前」がひっくり返される。自らの努力で母乳ならぬ父乳を出す男性、パワースーツ購入で己の非力をカバーする女性…。性差が減った未来をユーモラスに描いた短編集。少々SFチックだがこういう想像力は大事な、と思う。



## 『忍者だけどOLやってます』

橋もも 著 ( 双葉社 )

主人公は代々続く忍者の里の頭領娘。その生き方に嫌気がさして里を抜け出し普通のOL生活を過ごす、大切な人を守るため、再び忍者業に舞い戻る。タイトルから一見おふざけな内容かと思ったが、現代に生きる忍をしっかりと描いてあって面白い。軽く読めるエンタメ小説。



## 『THE やんごとなき雑談』

中村倫也 著 ( KADOKAWA )

ドラマや映画に引っ張りだこの俳優・中村倫也の初エッセイ集。軽いタッチで書かれたユーモアある文章にフツッと笑いながらサラサラと読み進められる。さて、ドラマでバリスタ役を演じるこの俳優、実はブラックコーヒーが飲めないらしい。

もし家でゆるふわで、その上、お風呂から出たら、勝手に自意識を曝け出し「丸裸」に！  
エッセイ集「やんごとなき雑談」の収録内容、中村倫也の自伝、事件、そして読者の声。中村倫也が文学の教師に転身して書いた、初のエッセイ集

